

主なご質問・ご意見と回答（要旨）

※複数の方から頂いた同様の質問については、集約して記載しています。ご了承願います。

(1) コンクリート圧送設備工について

ご質問・ご意見	回答
当初予定になかったコンクリート圧送設備工が新しく追加されたのはなぜか。	現場周辺の住環境に配慮し、地域内を走るミキサー車の台数を減らすため、新たにコンクリート圧送設備を設置することにしました。
コンクリート圧送設備の設置によって、騒音や振動などの負担がこれまでより増える住宅がある。	コンクリート圧送設備近隣の方々には、新たにご迷惑おかけすることになり大変申し訳ございません。設備周辺には防音パネルを設置するなど、極力ご迷惑をお掛けしないよう配慮いたします。ミキサー車の通行台数を減らすことにより、沿道への振動や騒音を低減させるだけでなく、地域の交通安全にも配慮する取り組みですので、ご理解ご協力をお願いいたします。
本体構築工事の開始を、コンクリート圧送設備が完成するまで遅らせることはできないのか。	本体構築工事の開始を遅らせた場合、全体工期が遅延してしまうことから、掘削が完了したところからミキサー車によるコンクリート打設を開始する計画としました。治水安全度の向上に向け本事業の早期完成に努めてまいります。
深堀川・境川が増水してもコンクリート圧送設備は大丈夫なのか。	コンクリート圧送設備は、護岸より上に設置するため問題ありません。
圧送管からコンクリートが漏れることはないか。	そのようなことが起こらないよう、定期的に点検やメンテナンスを行います。また、点検時やパイプを交換する際にもコンクリートが河川へ流出しないよう、圧送管の下には鋼板を敷設し十分注意をして作業を行います。
コンクリート圧送設備の設置期間は。	[工事説明資料 p6] 今後約3年間の設置を計画しています。
圧送ヤード及び中継ヤードからの騒音・振動はどのようなものか。	圧送ヤードでは、ミキサー車などの車両が走行する際の音や振動の他、バックの際に発する警告音や、ミキサー車後部のドラムが回転する音などが想定されます。そのため、防音パネルなどの防音設備を設けるなど、周辺環境へ与える影響を低減するよう努めてまいります。
圧送ヤードに新たに設ける防音パネルの高さはどれくらいか。	防音パネルの高さは約3mです。
圧送ヤードの防音パネル設置範囲を広げられないか検討して欲しい。	設置範囲の拡大について検討します。

<p>圧送管からの騒音・振動はどのようなものか。</p>	<p>圧送管からは、管の中をコンクリートが流れる際の（シャーという）流下音が発生しますが、その際の振動はほとんど無いものと考えています。</p> <p>圧送管の側面には防音パネルを設けるなど、周辺環境へ与える影響を低減するよう努めてまいります。</p>
<p>深堀川の暗渠上にある斜面では、どのような工事をするのか。</p>	<p>圧送管を敷設するための準備として、モルタルの吹き付けとロックボルトで斜面を強固にする工事を行います。また、圧送管を固定するコンクリートの基礎を作ります。</p>

(2) 掘削工、パイコンベヤによる土砂搬出について

ご質問・ご意見	回答
<p>掘削作業はいつ頃完了するのか。</p>	<p>[工事説明資料 p7]</p> <p>2023年1月頃を予定しています。</p>
<p>パイコンベヤの稼働はいつまで続くのか。</p>	<p>[工事説明資料 p7]</p> <p>掘削工が完了する2023年1月頃まで稼働する見込みです。なお、掘削工完了後は、パイコンベヤの撤去作業を行います。</p>
<p>掘削する際の合図音が気になった。</p>	<p>ご迷惑をお掛けしております。掘削機械のクラムシェルが発するメロディ音は、作業時の衝突等を防ぐ安全確保のための合図音となっております。ご理解くださいますようお願いいたします。</p>

(3) 通行規制及び迂回路について

ご質問・ご意見	回答
<p>現在設置されている仮設歩道橋はベビーカーや自転車が通行できるのか。</p>	<p>通行できます。なお、安全のため自転車は降りてご通行いただきますようお願いいたします。</p>
<p>今後行われる通行規制の期間はいつか。</p>	<p>[工事説明資料 p 32]</p> <p>2022年10～12月の間、コンクリート圧送設備を設ける作業のため平日の昼間に通行規制をさせていただきます。</p> <p>規制区間1は、片側交互通行を概ね2週間の予定です。規制区間2は、車両の通行止めを概ね2週間の予定です。規制区間3は、車両の通行止めを概ね3週間の予定です。夜間及び土日祝日は交通規制を行いません。規制区間4は、概ね4週間の通行止めとさせていただきます。</p> <p>規制の具体的な日時は現在検討中のため、確定次第、チラシやホームページでお知らせいたします。</p>
<p>通行規制の区間が幼稚園の送迎バスルートになっているため、幼稚園にも周知が必要では。</p>	<p>規制に伴う送迎ルートの変更などに対応いただく場合もあるため、近隣の幼稚園・保育園にも通行規制について別途周知させていただきます。</p>

通行規制の際、車の出し入れはどうか。	規制の期間や場所によるため、沿道の方には個別調整させていただきます。
パイコンベヤ撤去及びゆっくりロードの復旧は約 10 か月とあるが、いつから撤去開始するのか。	[工事説明資料 p7] 掘削工が完了した後、パイコンベヤ撤去を開始します。掘削工は 2023 年 1 月頃の完了見込みです。
パイコンベヤの撤去にこれほどの長い時間がかかるのか。	パイコンベヤは延長が長く規模も大きいため、基礎コンクリート等の撤去を含め、概ね 10 カ月の期間が必要となります。 なお、撤去及び復旧が完了した区間から、部分的に通行規制を解除できるよう検討します。

(4) 工事車両、作業時間について

ご質問・ご意見	回答
コンクリート圧送設備ができるまでの期間（2022 年 10～12 月）は、現在と比べてルート②を通過する工事車両が増加するか。 特に、14 時～16 時の間は小学生の帰宅時間なので注意して欲しい。	[工事説明資料 p27, 28] 現在、資機材等を積んだダンプトラックが 1 日平均 25 台通行しています。それに加え、圧送ルート整備中はミキサー車が 1 日平均 45 台通行させていただきます。 （平均 70 台/日） 工事車両の通行にあたっては、交通誘導員を配置するとともに、ルート②は徐行し、安全に注意いたします。
工事車両の走行音やブレーキ音が気になる。	車両の運転にあたっては、制限速度を遵守（ルート②は徐行）するとともに、走行音やブレーキ音に配慮して運転するよう指導いたします。
工事車両が深夜に通行しているのはなぜか。	[工事説明資料 p29] 大型トレーラー・クレーン車等の特殊車両は、法令で運行時間が 21：00～6：00 に制限されているため、深夜・早朝に入退場しています。
誘導員は工事車両しか誘導しないということだが、なぜか。少なくとも、目の前にいる子供やお年寄りの安全は見て欲しい。	[工事説明資料 p30] 警備業法で定められているため、工事車両が関与する際の誘導しかできません。工事車両の誘導にあたっては、通行する方々の安全に注意を払い誘導いたします。
夏休み明けなど登下校時間が変わる時期や、通行規制で迂回路が切り替わる時期など、何か変化がある時に事故が起きやすいため注意して欲しい。 近隣学校の長期休暇スケジュールを把握することや、迂回路が切り替わった直後はガードマンを増員するなど、普段と違うことがある特に注意して対策を講じるべき。	いただいたご意見を踏まえ、迂回路の変化時にはガードマンを増員するなどの対応を行います。 また、学校の休暇やテスト期間などを把握し、普段と登下校時間が異なる時期は特に車両の運転に注意するよう指導してまいります。

<p>過去の説明では、作業時間は9時から17時と聞いたが、朝8時から作業しているのはなぜか。</p>	<p>平成29年3月26日の事業説明会では、作業時間は9～17時を想定しているとお説明しましたが、その後、平成30年11月23日、12月1日、12月5日の工事説明会で説明させていただき、作業時間を8～17時とさせていただいております。</p> <p>これは、近隣学校へのヒアリング等の結果、作業員の通勤車両が登校時間のピークと極力が重ならないよう8時前の上場に変更したためです。</p> <p>なお、ヤード内での作業は8時から開始していますが、工事用車両の搬出入等は、当初どおり9時以降に行っています。</p>
<p>パイプコンベヤの点検を土曜にやっているが、作業は平日のはずではないのか。</p>	<p>パイプコンベヤの点検は土砂搬出に関わるすべての工事が行われていない時にしか点検ができないため、土曜日に点検を行っております。</p> <p>なお、点検日は事前にチラシやホームページでお知らせしております。ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>

(5) 工事説明会の開催方法について

ご質問・ご意見	回答
<p>なぜ従来の説明方法から変更したのか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中で、大勢の参加者が一同に会する開催方法に不安を感じる方も多くいらっしゃる事を踏まえ、より安全かつ確に工事の情報をお伝えできるよう、WEB等によるオンライン形式を中心とした説明会とさせていただきました。また、問合せは電話やメールのほか、少人数での予約制対面形式も併用しました。</p>
<p>お知らせチラシと資料はどこに配布したのか。 自治会の回覧や、市を通じて周知するなど、情報が行き渡るよう方法を考えて欲しい。</p>	<p>工事現場を中心とした近隣約2,500戸にポスティングしています。合わせて、関係市、自治会、学校関係者にも資料を配布しました。</p>
<p>工事連絡協議会が最近開催されていない。年に一度は総会を開催したほうがよい。</p>	<p>近年は新型コロナウイルスの影響もありお集まりいただいていた会議は控えていました。</p> <p>今後、必要に応じ開催を検討してまいります。</p>
<p>お知らせ配布から個別対面までの時間が短すぎる。</p>	<p>お知らせ配布から約1週間後に予約制の個別対面時間を設定しておりました。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>もっと金森調節池工事のホームページを活用したほうがよい。</p>	<p>ホームページでは、今回の工事説明のほか、工事に関するお知らせや進捗状況などを掲載しています。</p> <p>今後も、工事に関する情報発信を行ってまいります。</p>

お知らせチラシに QR コードが貼られている点よかった。すぐにアクセスして資料や動画を確認できる。	今後も、手軽に情報にアクセスできるよう工夫するとともに、多様な方法を用意して問合せしやすい環境作りに努めてまいります。
問合せが電話でもメールでも可能で、もし電話やメールで足りなければ対面を予約すればいい。自分の都合のいい時間と方法で問合せできるのは便利だった。	
メールでも問合せできるので、電話することを億劫に感じる人でも、以前より問合せしやすい環境が整っていると思う。	
説明会に参加するのは違い仕事や家庭の都合をつける必要がないので、動画説明の方がありがたい。	今後も動画説明の利点を活かしたわかりやすい情報発信に努めてまいります。
動画はすごくわかりやすかったし、好きな時間に何度か見て確認できるのでよかった。 情報を近所の人に展開するのも便利だった。	
お年寄りなかなか動画を観るのは難しい。お年寄りなどデジタルに疎い人達のための対応を考えた方がいい。	いただいたご意見を踏まえ、ホームページに掲載している動画を、インフォメーションセンターでも視聴できるようにしました。
直接顔を見て話をしたほうがより伝わりやすいと思う。オンライン説明会という方法もあるのでは。	今回、対面での問合せに対しては、少人数の個別予約制を設けました。オンライン説明会については今後の参考にさせていただきます。
今回のような少人数の個別対面の方がありがたい。時間も限られ、気になる点は個人で異なるので、大人数の場では聞きたい事をちゃんと聞くことが難しい。	いただいたご意見を踏まえ、工事説明の開催方法の参考にさせていただきます。
今の世の中、説明のために会場へ集まる必要性はないと思う。説明方法も問合せ方法も、今回のやり方で足りていると思う。	
他の人がどのような意見を持っているかわかるので、10～20 人程度が集まる場での意見交換はあってもいいと思う。	

(6) その他

ご質問・ご意見	回答
インフォメーションセンターはいつ空いているのか。	月曜から金曜（祝日を除く）の 9:00～17:00 です。インターフォンを鳴らしていただければ現場の担当者が対応します。
現在境川の転落防止柵についている防犯灯を、圧送設備完成に合わせて通路側へ移設して欲しい。	圧送設備の工事と合わせて通路側へ移設します。
コンクリート圧送設備を作る際、周囲から死角になるような場所は作らないようにして欲しい。	いただいたご意見を踏まえ、防犯の観点にも配慮いたします。

土砂搬出で使用しているパイプコンベヤでコンクリートを搬送することはできないのか。	設備の仕様上、コンクリートの搬送はできません。
家屋の事前調査を行ったすべての家屋について、事後調査を実施すべき。	家屋の事前調査を行ったすべての家屋について、調査意向確認を行った上で、事後調査を実施します。
見学会を開催して欲しい。 小中高生を対象とした社会科見学を開催してはどうか。	見学会の開催可否について検討いたします。
もっと関心を持ってもらうようにPRすべき。人によって事業に対する意見はいろいろあるが、無関心が一番よくない。	いただいたご意見も参考にさせていただき、PR に努めます。